



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA
c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
Dojima Grand Bldg., 1-5-17
Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
PHONE (06)344-1717

CENTENNIAL

SEPTEMBER 1992, No. 3
The Service Club to the YMCA
Chartered September 25, 1982

MOTTO (1992~1993)

- IP "Let's care, let's share!" 労りの手, 分かち合いの心
AP "Look beyond yourself!" 乗り越えよう, われわれ自身を
RD "Extend Y'sdom throughout community" 広げよう! 社会にワイズの大きな輪
-aim high at 6000-
-日本区6000への実りを求めて-
DG 『日々, 新しく生きる!』
CP 『先ず実践! 感謝と報恩の行動を!』

= 月間強調テーマ 『EMC』 =

= 9月の聖句 =

「あなたがたの中に、百匹の羊を持っている人がいて、その一匹を見失ったとすれば、九十九匹を野原に残して、見失った一匹を見つけ出すまで捜し回らないだろうか。」 ルカによる福音書 15章4節

☆「このお話、はく知っているよ! イエス様が羊を肩に背負っている絵も見たことがある」

★「そう、イエス様が『神様の愛』について話して下さったとっても有名な、たとえ話ね。こんなふうに、神様はいま御自分のそばにいる九十九匹よりも、どこかへ迷って行ってしまった一匹を大切に思って下さるの。そうして徹底的に捜しにきて下さるのよ!」

☆「僕達なら、一匹ぐらいいなくてもいいやって思うかも知れない」

★「そうね、わたし達の世界では、九十九人が幸福になれるのなら、一人ぐらいの落ちこぼれがいてもしかたがないって思うてしまうのが常識よね。でも神様の愛の世界は、この常識を超えた世界。ちょっと難しいかな?」

☆「うん、でもなんとなく分かるよ! ……だけど僕は多分、この一匹ではないと思うよ。」

★「どうして?」

☆「だって、僕そんなに悪い子じゃないでしょ。時々忘れるけど、お祈りだってちゃんとしているし。お隣のマキちゃんみたいに先生に叱られてばかりいないでしょ?!」

★「この一匹の羊も、もしかしたら自分のことをそう思っていたかもしれない。自分は、ちゃんとお家に帰る道も知っているし、迷ってなんていないよ、って思っていたかもしれないわね。」

☆「自分が迷っていることが分からないで?」

(杉浦真喜子君撰・解説)

--- 9月第1例会 ---

日時: 1992年9月16日(水) 6:30~8:30 P.M.

会場: YMCA国際社会奉仕センター

司会: 杉浦真喜子君

1. 開会点鐘 上月英子会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読 山田孝彦君
4. ゲスト紹介 上月英子会長
5. 日々の糧及び黙祷 一同
6. 晩餐 一同
7. 西副区「ワイズシンポジウム」報告
(講師) 上月英子会長, 湯浅充章君, 佐藤勝雄君, 津田葉清政君, 三浦直之君, 山村幸明君
8. 卓話「欧州旅行報告」
鈴木謙介君, 山田孝彦君, 杉浦真喜子君
9. お誕生祝い 一同
10. ニコニコ献金 ドライバー
11. 役員会・委員会報告, YMCAニュース
12. 閉会点鐘 上月英子会長

= 9月お誕生の方 =

Happy Birthday to following people……

竹廣君 1日 藤原君 14日

-- 9月第2例会 --

日時: 1992年9月30日(水) 6:30 ~ 8:30 P.M.

場所: YMCA国際社会奉仕センター

(9月第4水曜日(22日)は祝日のため変更
になります。お間違えなきようお願いいたします)

9月例会当番: (第2班)

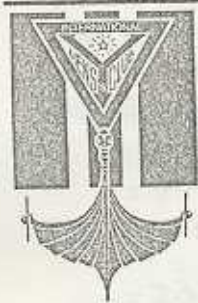
鈴木君, 杉浦君, 山田君, 足立君, 千柄君

会場の受付・準備・後片付け等宜しく願ひします

国際大会に参加して

山田孝彦

Oslo '92



第60回国際大会は7月29日から8月1日まで4日間、ノルウェーのオスロで開催された。総登録人数1,000名、日本から190名の参加であった。わがセンテニアルは鈴木謙介夫妻と山田・杉浦の4名が出席した。

“Let's Care-Let's Share”が今年のIP標語。大会中は総てこのテーマに添って問題の提起や報告がなされた。中で印象に残った2つの提言

を報告しよう。まず、大会冒頭 Bishop B. Bue の基調講演。「人類は神によって造られながら破壊の力も持っている。人類の進歩発展は破壊と同時進行であった。コロンブスの新大陸発見とその後の開拓によって7,000万人のインディアンが800万人になった。いまもなおわれわれは戦争と暴力の脅威・貧富格差の拡大・環境破壊という危機を抱えている。経済秩序を維持するだけでなく、自然の秩序を維持しなければならない。発展途上国への援助は寄付ではなく「かつて奪ったものを返す」という気持ちで進めるべきであろう。」

次にIPIPのA. Cowling氏の講演。「われわれクリスチャンにとって祈りは大切であるが、ただ人のために祈っているだけでは、実質的解決にはならない。他人の逆境を思い遣り(Let's Care) 祈るとき、具体的な分かち合いの行動が伴わねばならない。(Let's Share)」

会場は室内競技場のような建物を2つに区切って半分で会議、後半分で食事という仕組。1000人が一斉にテーブルに着くのだからまさに立錫の余地もない。照明が暗く向こう三軒両隣と国際交流を図っても、席を立った後はもう互いに見分けがつかず、それっきりになる。むしろ日本区各地からの参加のワイズメンと交友を改める成果が大きかった。

前の京都大会に北欧3国から大学参加しただけに、日本に行ったことがあるという人も多く、'Ken Suzuki'を知らない人はいない。彼と同じクラブだといえはそうかそうかと通じてしまう。その鈴木夫妻はPIP指定席に区切られてしまい、遠くから眺めるしかない。

今回の旅行を通じ、日本人観光客がいたるところに溢れているのに遭遇し、また、この大会にもはるばる190名も参加できることから、日本人の平和さ・豊かさはまぎれもないことを世界に示している。今後国際ワイズの日本への期待も一層大きくなる。"Let's Care-Let's Share"も正に日本に対して問い掛けられているように考えさせられた次第。

= 8月第1例会報告 =

三浦直之

8月第1例会は、恒例のビア・パーティで、パノラマ・ビアレストラン・アサヒ(大阪ビジネスパーク、松下IMPビル26F)で、和やかな雰囲気の中で行われました。当日は台風の影響で雨が少し降っていましたが、26Fから見る夜景は、外の天気反して意外なほど鮮明に見え、日頃のむし暑さを忘れさせてくれました。更に、料理も大変豪華で、食欲も大いに進み、皆さん大変満足されたようでした。

例会のほうは、いつものように開会点鐘、ワイズソング、聖句朗読、ゲスト紹介と続き、ビアパーティへと進んで行きました。

当日は、ゲスト、メネット、コメットの出席が多数あり、多彩な顔ぶれとなり、和やかな雰囲気をかもし出していました。

パーティも半ばの頃、過日オスロ(ノルウェー)で行われた第60回国際大会に参加された、鈴木謙介君、鈴木メネット、山田孝彦君、杉浦眞喜子君より、その時の報告がありました。北欧の街はさぞ美しいであろうと想像しながら拝聴いたしました。

世界は狭くなったとはいえ、はるか遠いオスロまで行かれ、ワイズの活動をされる熱意は見習わなければと思いました。

次に、役員会、委員会報告があり、平田10周年実行委員長より、経過報告等がありました。

最後に、上月会長の閉会の点鐘により、楽しかったビア・パーティも終わりとなりました。

= 8月出席状況 =

第1例会出席会員：18名 ゲスト：6名
メネット：10名、 コメット：4名
第2例会出席会員：14名、(うちMU：2名)
ゲスト、メネット：0名
出席率：65% (前月67%) 会員数：33名

◎ニコニコ献金：41,100円

= 8月BF報告 =

[切手提供者]

秋月君、足立君、上月君、杉浦君、鈴木君、津田葉君、福永君、森メネット、山田君、横山君

(7月分追加) 黒田君

[切手ポイント]

8月分：2,269 pts. 累計：3,876 pts.

[現金ポイント] 8月分、累計共 0 pts.

= IBCハイライト =

『最新スイス事情 - 「中立」を見直すスイス』

谷川 寛

四月末にスイスを訪問したことは前回に書きました。ジュネーブで、4月29日から5日間、世界YMCA同盟の常務委員会が開られました。

開会の前日の夕食会に、ちょうどジュネーブの本部におられた緒方定子国連難民高等弁務官 (UNHCR) の出席がありました。同女史は、夕食のスピーチで、YMCAの世界的広がりのある活動に対して理解を示され、NGOとしての働きに高い評価を下されました。また、多発する世界の難民に対するUNHCRの活動にふれ、大変興味のある話をされました。緒方さんの世界同盟の会合への出席は、宮崎同盟総主事がアレンジしたものです。この日の夕食会では、私もヘッドテーブルの末席を汚す光栄に浴しました。

ご存じの通り、スイスは過去二つの大戦に参加せず、ずっと永世中立を守りました。このため国連の機関がジュネーブを中心に本部をおいています。UNHCRもジュネーブが本部です。ジュネーブは、そのような国際都市ですが、スイスは今まで国連加盟を永年拒んで来ました。この永世中立の旗印が今までは幸いして、今日の経済的繁栄を築いて来ました。

しかし、冷戦時代が終り、ヨーロッパの市場統合といった時代の流れの中で、スイスは国際社会の一員とならないでいつまでも孤立して生き延びることが難しくなってきました。私がジュネーブを去ったあと、五月の国民投票で、まずIMF・世銀への加盟を決めました。また、スイス政府はすでにEC加盟の方針を打出しています。これには賛否両論があり、年内にも国民投票が行われるでしょう。つまり、国連加盟も近く実現するでしょう。スイスは8月1日に701回目の建国記念日を迎えました。今までした、かに生きて来たこの国も大きく変り出しました。今年11月はじめに世界同盟の財務委員会が、再度ジュネーブであります。その時は、また新しいニュースが、私を待っていてくれるかもしれません。また、御報告しましょう。

第4回 中西部会

- 9月19日(土) 於 ホテル京阪京橋 7F
- 会費:メン・メネット共 10,000円(コメント無料)
- 3:30P.M. 登録受付 4:00 開会礼拝、部長及び各クラブ会長報告 5:00P.M. 記念講演「世界動静と地球環境」泉和幸氏 6:15 晚餐 7:30 閉会

【個人消息】 黒田巖之君: 前回手術されたところを傷められ、淀川キリスト教病院に御入院。再手術は不要の由。御全快をお祈りします。

《国際ワイズ・メモ》

谷川 寛

*国際書記長イングヴァー・ワーリンからの近着RD宛メモに、1991/92に世界のワイズメンが達成したデータの報告がありました。

*◆BFでは、集めたファンドは \$189,857 に到達。

◆TOFは、\$186,325 を達成。

◆ワイズメネットは、全世界で 8,000 名の会員となり、メネットクラブの数も 400 クラブ以上となりました。

*TOFの数字も、私がISD、TOFの時には、\$100,000 達成が目標であり、\$100,000 に到達するのに苦勞したのを思い出します。

---O---

-【日本区理事の強調月間コメント】-

=EMC=(9月・11月・12月)

- ・本年度理事方針の中核をなすEMCです。EMC問題の原点はメンバー個人や個人の集合体であるクラブの生命論にあります。生命の尊さは個人の生命がもつ有限性、一回性によるものです。尊い個人の生命を集合化したクラブには永続性が与えられ、無限化します。しかし、新陳代謝と活性化がなければ成長どころか滅亡に追いやられます。
- ・現在クラブに居るメンバー全員の責任は重大と言えます。
- ・部会が開かれる機会にそれぞれのクラブが現状分析して下さい。そして、クラブの成長のためには今、何をすべきかを全員参加で真剣に語り合い問題点をまとめて下さい。必ずと道は開けるでしょう。

---O---

--- 8月第2例会報告 ---

1. 10月度例会プログラム: EMC強調月間に因んで、各自1人の知人を誘って例会をもち、その席上会員のうちより“メンバーが語るY'sの楽しさ”をテーマに話をする。
2. 10周年記念事業: 平田委員長の報告を基に、担当者を決め、9月中に中西部各クラブを訪問PRを行う(その際持参の案内状作成)。YMCA留学生奨学基金として100万円を寄付。(贈呈式を兼ねる) 記念誌は、黒田君と打合わせ田中君に依頼する。
3. 「留学生ゲスト会員」の件: IBC事業委員会提案。既に日本に来ており自活能力ある留学生一名を、1年程度クラブにおいて、年会費を徴収しないゲスト会員として迎える。例会等、活動に参加してもらう。
4. 留学生エイド・バザーを11/14(土)に予定。
5. 諸会合(今後のスケジュール参照)出席確認。
6. その他。

《世界をみつめ、地域と生きる》

"Have a Global View and Respond like a Native"

○○○○○ 大阪センテニアルクラブ ○○○○○

◆ 10周年記念パーティー ◆

◆ 11月7日(土) ◆ 於 天保山ハーバービレッジ

◆ 会費: 6,750円 (海遊館団体入場料 1,750円)

(パーティー会費 5,000円)

○第1部: 海遊館にて魚と戯れてみませんか?

12:30P.M. 海遊館ホールにて受付 1:00P.M. 「シン

ベエザメと世界のお魚の素敵なお話」、あと見学

○第2部: パーティ 2:30P.M. レストラン「サイレン」受付

3:00P.M. 開宴 5:00P.M. 終宴

※第2部よりの御参加も歓迎いたします。

◆ 申込先: YMCA国際社会奉仕センター内、岸川連絡主事宛

◆ 会費振込先: 三和銀行阪急梅田北支店、普通口座

3868193 番「大阪センテニアル10周年記念会計

伊藤勝康」 (詳細別紙参照願います)

= 今後のスケジュール =

1. 中西部会 9月19日(土) 於 ホテル京阪京橋
2. 阪和部会 9月23日(水) 於 河内長野ラブリ
ーホール(納期際7分) 10:30A(替)11:00A~3:00P
会費: ム・ネット6,000円 コネット2,000円
3. 京都センチュリー5周年記念例会 9月23日(水)
4. 名古屋グランパスC. N. 9月26日(土)
5. 大阪茨木ワイズ・チャーター・ナイト
9月27日(日) 2:30 P.M.
於 茨木市福祉文化会館(オークシアター)
6. 第3回韓国YMCA女声合唱団歓迎会と演奏会
歓迎会: 10月16日(金) 6:30~8:30P.M.
於 大阪YMCA会館 2階ホール 4,000円
交歓演奏会: 17日(土) 2:00~4:00P.M.
7. 第9回日本YMCA大会
10月23日(金)~25日(日) 於 日本YMCA同盟国際
青少年センター東山荘 参加費合計: 26,000円
〔1泊2日(24,25日)参加の場合 17,000円〕

— ニコニコ・メッセージより —

○素晴らしい会場で素晴らしいY'sの友とお会い出来
ごちそうを頂き感謝でございます。何か世のため社
会のために役に立つことはなからうか?いつも模索
しつつ毎日を過ごしています。今年は上月女性会長
さんが頑張っておられ敬意を表します。

・・今井利子(大阪長野クラブ)

○すっかりご馳走になって有難う存じました。山田さ
んのお誘いに甘えさせて頂きました。御礼申し上げます。

・・仲田達男(東京西クラブ)

○2回目の孫預かりをしています。2才半なりに努力

しているようで、母親のことを一言も申しません。
可哀想とは思っていますが、預かる方としては有難
い事です。感謝。

・・秋月利英

○台風一過のステキな夜景を見ながら楽しいパーティ
を過ごさせて頂きました。

・・足立利枝

○素晴らしい夜景のビアパーティを提供頂きありがと
うございました。

・・伊藤勝康

○素晴らしいパーティ会場をお世話下さった平田さんに
感謝。多くのゲストを迎えて喜びです。

・・上月英子

○百万ドルの夜景をのぞむ素晴らしい会場での集いに
感謝。ビールがとておいしい。

・・柴田 健

○初めて国際大会に出席出来て、いろいろすてきな経
験をすることができました。感謝。

・・杉浦真喜子

○素晴らしい会場を設営して下さい、ビールがうま
くそしてゲストが沢山来られて感謝。

・・鈴木謙介

○オスロ大会より無事帰った事喜びです。

・・鈴木美藤

○澄んだ空気、きれいな景色、そしておいしい料理。
すべてに感謝して。

・・隅田 保・恵子

○素晴らしい展望の中でビヤパーティありがとうございました。

・・田中穰二・豊子

○今日はゲストが多く感謝です。是非フォローアップ
をしっかりとしましょう。

・・谷川 寛

○息子と共に参加出来て感謝です。ハワイでY'sの人
々に暖かく迎えられ、後日いつかY'sにつながって
くれる事を期待しつつ。

・・谷川有美子

○すばらしいビアパーティ。年1回では勿体ない?と
てもおいしく、夜景も素晴らしい。

・・津田葉清政

○久しぶりの家族揃っての参加を感謝して、また名誉
ある司会を賜わって感謝です。

・・中村隆幸・幸枝

○夜景が美しく、楽しいパーティに感謝。

・・三浦直之

○美しい夜景、大阪城を眺めて楽しい交わりの一時に
感謝。

・・森 晴美

○夜景が素晴らしいビヤパーティありがとうございました。
メンが欠席でお詫び。

・・山村利子

○23日は62才の誕生日。心身ともに健康でいられ
ることに感謝です。国際大会に続き北欧を旅しまし
た。多くの事を学び、また新たなワイズの友を得た
事も感謝です。

・・山田孝彦

○センテニアルの熱気で台風11号も逃げていき、恒
例のビアパーティが盛会でありました。(無名氏)

○初めて参加させて頂きました。縁がありましたら今
後とも宜しくお願い致します。

・・勘川隼治郎

○ゲストとして参加させて頂きました。近々メンバー
としていろいろとお役に立てたらと思っております。

・・河野靖一

[編集後記]

いつも新鮮な息吹が充ちているわれわれのクラブ
に今年もEMCの成果を期待しながら……(福永)